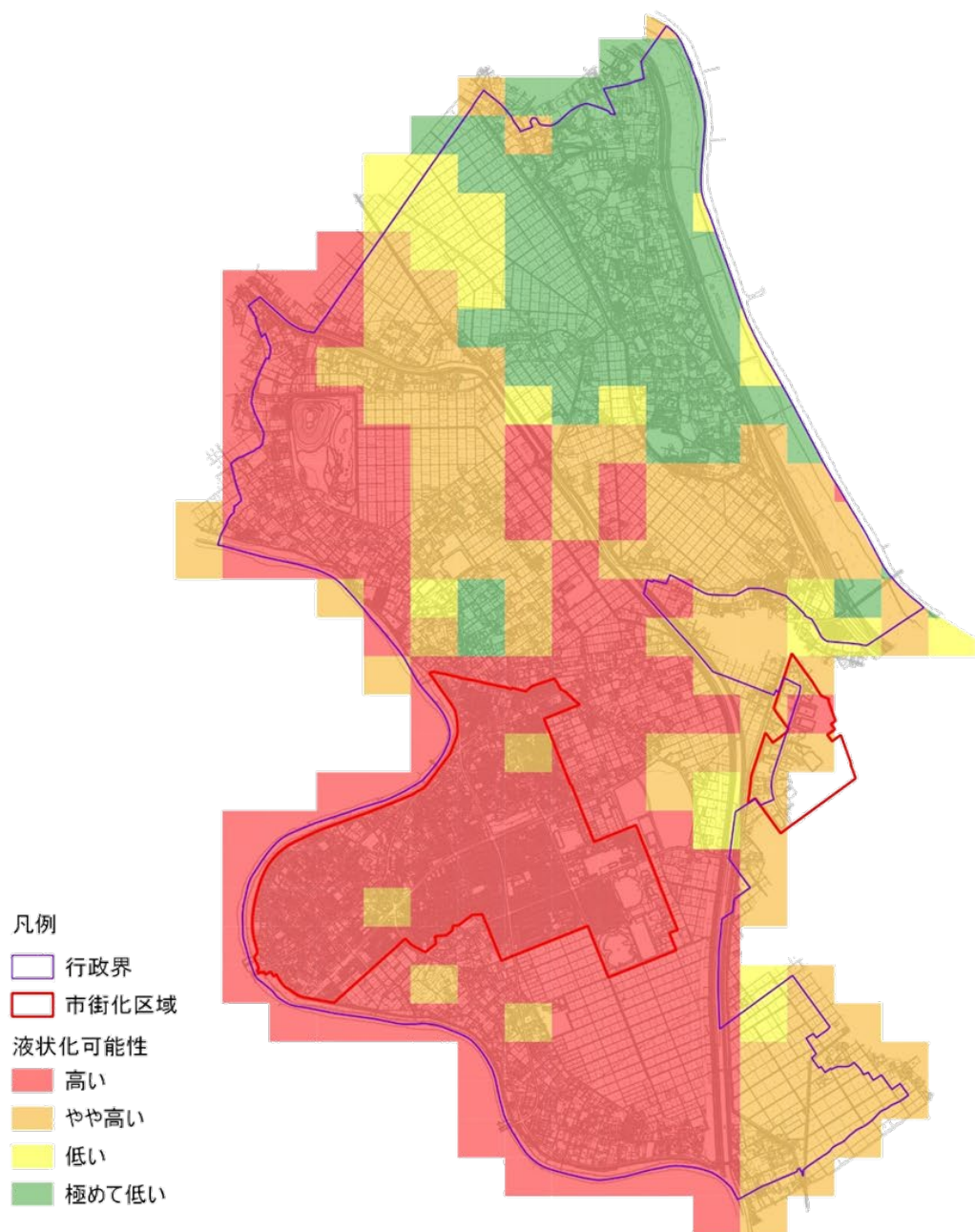


ケ 液状化可能性

- ・液状化とは、地下水を含む地盤が強い揺れで泥水のような現象です。このような地面の変化が原因で建物の基礎に悪影響が及び建物が傾いたり、道路が陥没したりして通行が困難になる被害が想定されます。液状化可能性マップは、地形の状況と地表の振動から液状化の可能性を250mメッシュでランク分けしたものです。これによると、松伏町は市街化区域など町西部では液状化可能性が高く、築比地地区などの北東部で液状化可能性が低くなっています。

液状化可能性マップ



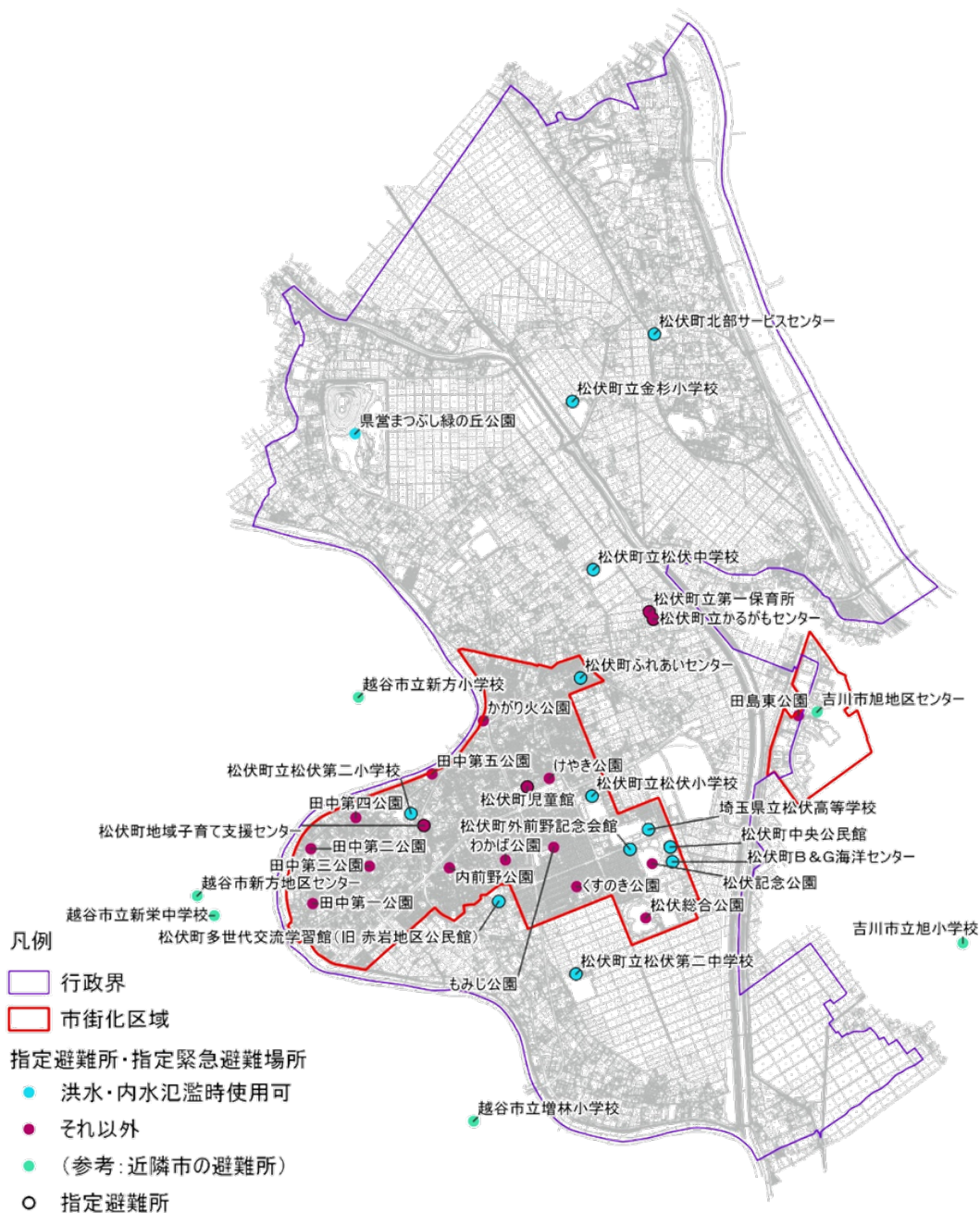
資料：松伏町ハザードマップデータ

コ 指定避難所と指定緊急避難場所

- ・松伏町には、災害が発生した場合に避難をしてきた被災者が一定期間生活するための指定避難所と、災害の危険から命を守るために緊急的に避難する指定緊急避難場所が合わせて31箇所あります。そのうち、指定避難所となっているのは、16箇所です。

また、洪水及び内水氾濫時に使用できるのは、31箇所のうち13箇所となっています。

指定避難所及び指定緊急避難場所



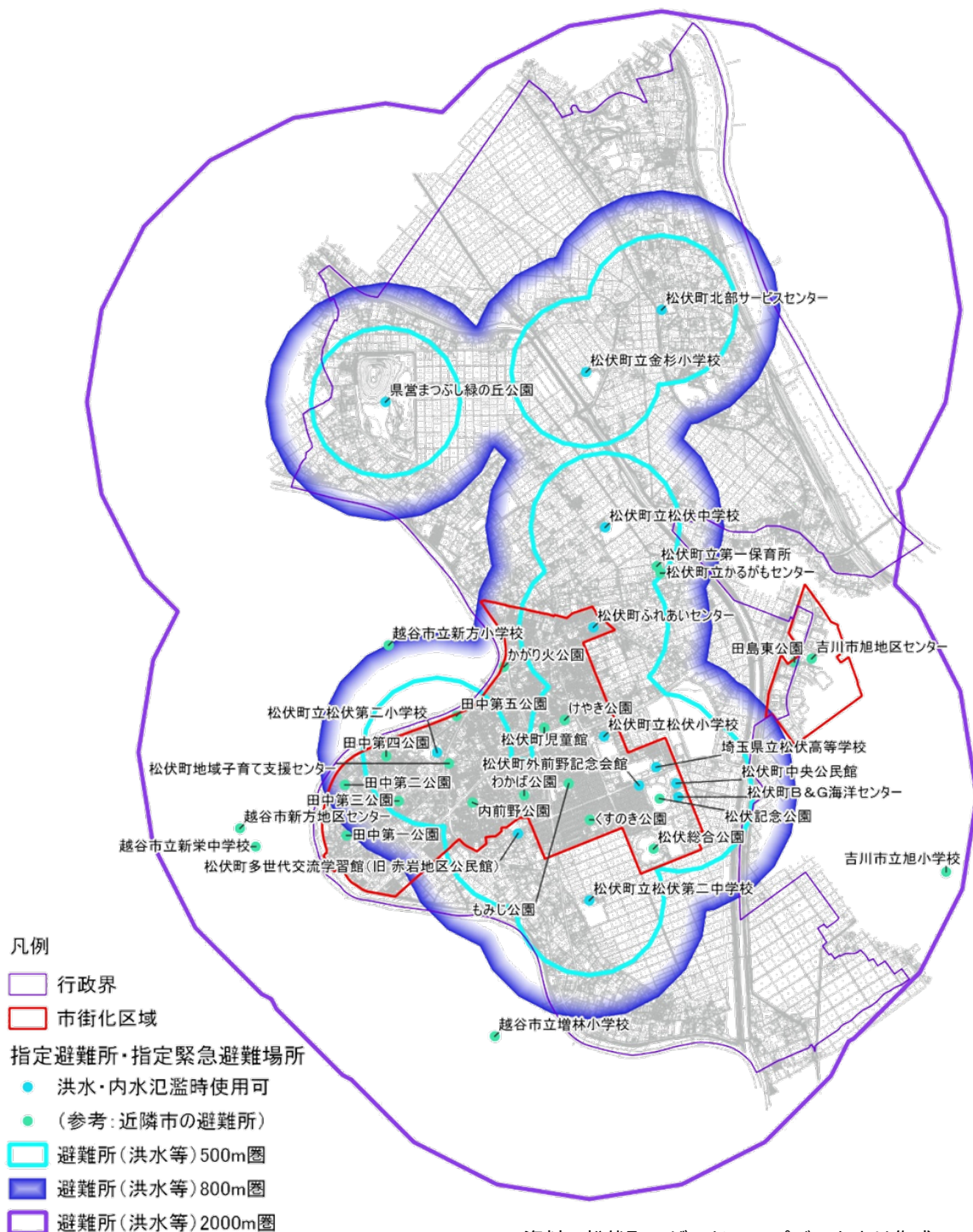
資料：松伏町ハザードマップデータ

サ 洪水及び内水氾濫時に使用できる避難所等と徒歩圏

- ・洪水及び内水氾濫時に使用できる避難所等13箇所について、徒歩圏を500m（一般的な高齢者徒歩圏）、800m（一般的な徒歩圏）、2,000m（一般的な避難限界距離 資料：避難所の指定・管理に関する調査研究）として図化すると、洪水及び内水氾濫時に使用できる避難所等は町域全域に分布しており、市街化区域を中心に町域全域がカバーされています。一方で、高齢者徒歩圏を考慮した場合、市街化調整区域を中心に、徒歩での避難が困難となるエリアが生じています。

※避難所等…指定避難所及び指定緊急避難場所

洪水及び内水氾濫時に使用できる避難所等と徒歩圏

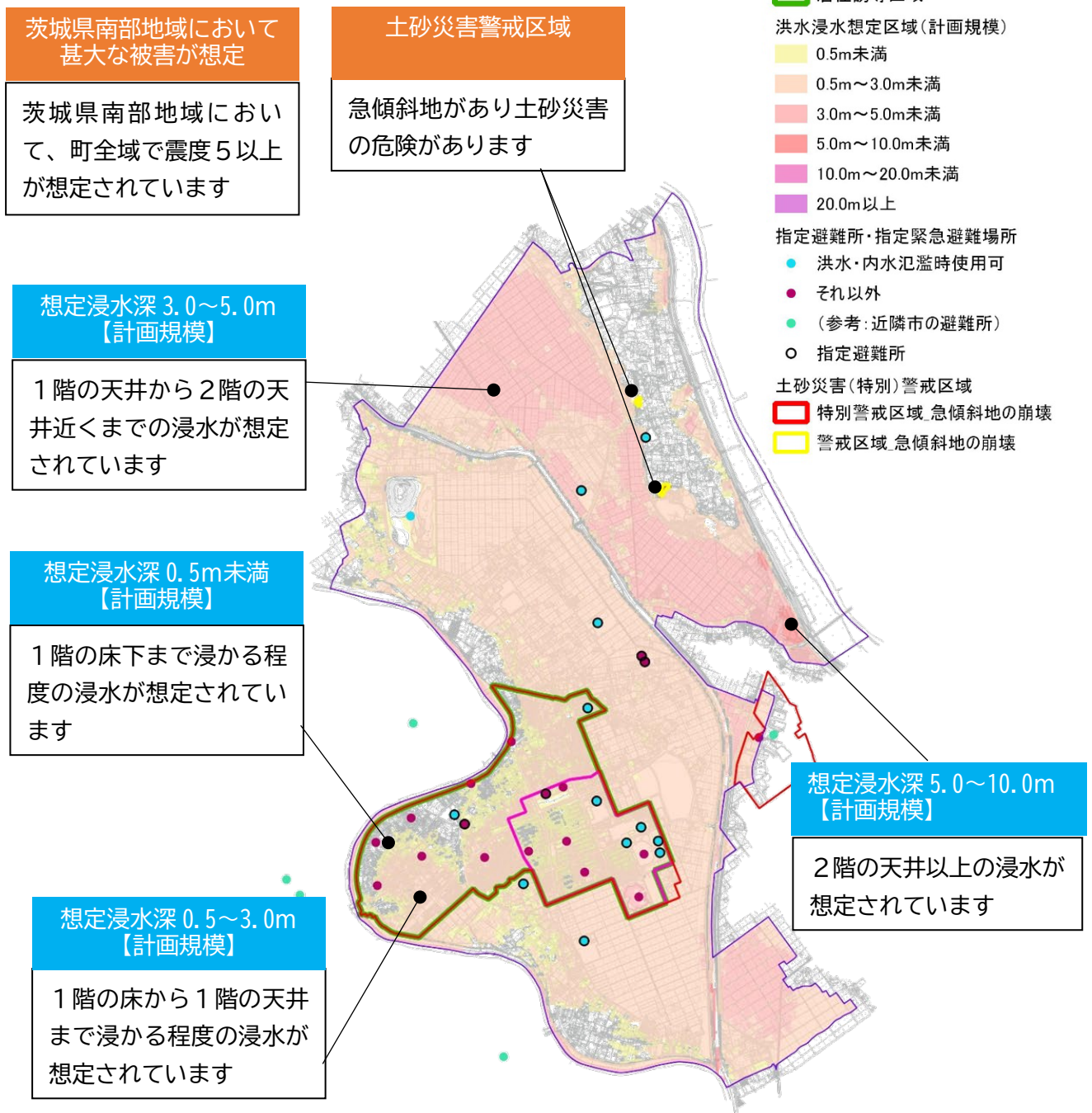


資料：松伏町ハザードマップデータより作成

2) 防災上の課題の整理

- ・これまでの分析結果を踏まえると、松伏町における災害リスクとして、地震、土砂災害、洪水災害が想定されています。松伏町は、被害を及ぼす河川として利根川、江戸川、中川、荒川、大落古利根川、元荒川、新方川が想定されており、洪水災害が特に懸念されます。
- ・そのため、洪水災害については、当該河川の洪水防御に関する計画の基本となる降雨の規模とされる計画規模の浸水想定区域と、想定し得る最大規模の降雨があった場合の想定最大規模の浸水想定区域の双方において、防災上の課題を整理することとします。

■松伏町全体 【計画規模】



■松伏町全体 【想定最大規模】

土砂災害警戒区域

急傾斜地があり土砂災害の危険があります

茨城県南部地域において甚大な被害が想定

茨城県南部地域において、町全域で震度5以上が想定されています

凡例

- 行政界
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域
- 特別警戒区域_急傾斜地の崩壊
- 警戒区域_急傾斜地の崩壊
- 洪水浸水深(想定最大規模)
 - 0.5m未満
 - 0.5m～3.0m未満
 - 3.0m～5.0m未満
 - 5.0m～10.0m未満
- 指定避難所・指定緊急避難場所
 - 洪水・内水氾濫時使用可
 - それ以外
 - (参考:近隣市の避難所)
 - 指定避難所
- 道路灌水
- 家屋倒壊_氾濫流
- 家屋倒壊_河岸浸食

想定浸水深 0.5～3.0m
【想定最大規模】

1階の床から1階の天井まで浸かる程度の浸水が想定されています

想定浸水深 3.0～5.0m
【想定最大規模】

1階の天井から2階の天井近くまでの浸水が想定されています

想定浸水深 5.0～10.0m
【想定最大規模】

2階の天井以上の浸水が想定されています

家屋倒壊等氾濫想定区域
【氾濫流】

堤防から溢れた水の流力の力により、家屋の流出や倒壊のおそれがあります

家屋倒壊等氾濫想定区域
【河岸浸食】

激しい河川の流力によって河岸の土地が削られることにより、家屋の流出や倒壊のおそれがあります

道路浸水発生箇所

道路浸水が発生しやすい状況にあります

■居住誘導区域 【計画規模】

- ・居住誘導区域についてみると、特に懸念される洪水被害について、計画規模では、田中など浸水想定区域となっていない地区も存在します。一方で、想定最大規模では、居住誘導区域全域が浸水想定区域となり、想定浸水深が3.0～5.0mとなる地区や浸水継続時間が長くなる地区も存在しています。

想定浸水深 0.5m未満
【計画規模】

1階の床下まで浸かる程度の浸水が想定されています

想定浸水深 0.5～3.0m
【計画規模】

1階の床から1階の天井まで浸かる程度の浸水が想定されています

凡例

- 行政界
- 市街化区域
- 居住誘導区域
- 都市機能誘導区域

洪水浸水深(計画規模)

- 20.0m以上
- 10.0m～20.0m未満
- 5.0m～10.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 0.5m未満

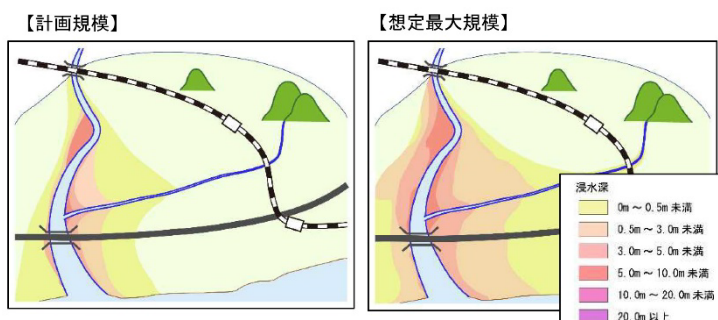
指定避難所・指定緊急避難場所

- 洪水・内水氾濫時使用可
- それ以外
- (参考：近隣市の避難所)
- 避難所(洪水)500m圏
- 避難所(洪水)800m圏

高 ← 発生頻度(発生確率) → 低

小 ← 浸水被害 → 大

※浸水深については、想定する降雨の規模(発生確率)に応じて、その範囲と程度が変化します。1,000年に1度程度を想定した想定最大規模と100～200年に1度程度を想定した計画規模で浸水深は大きく異なります



資料：立地適正化計画策定の手引きの図を編集

■居住誘導区域【想定最大規模】

洪水の際の避難所が
遠い

避難所が遠く、避難が困
難な場合があります

道路浸水発生箇所

道路浸水が発生しやすい
状況にあります

家屋倒壊等氾濫想定
区域【河岸浸食】

激しい河川の流れによっ
て河岸の土地が削られる
ことにより、家屋の流出
や倒壊のおそれがあります

想定浸水深 0.5～3.0m
【想定最大規模】

1階の床から1階の天井
まで浸かる程度の浸水が
想定されています

想定浸水深 3.0～5.0
m【想定最大規模】

1階の天井から2階の
天井近くまでの浸水が
想定されています

浸水継続時間
【想定最大規模】

0.5m以上の浸水が
1週間（168時間）
以上継続することが
想定されています

茨城県南部地域
において甚大な
被害が想定

市街化区域内では
建物の倒壊危険度
が高く、また、町の
南部では液状化可
能性も高くなって
います

凡例

- 行政界
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域
- 土砂災害(特別)警戒区域
- 特別警戒区域_急傾斜地の崩壊
- 警戒区域_急傾斜地の崩壊
- 洪水浸水深(想定最大規模)
- 0.5m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 5.0m～10.0m未満
- 指定避難所・指定緊急避難場所
- 洪水・内水氾濫時使用可
- それ以外
- (参考: 近隣市の避難所)
- 指定避難所
- 避難所(洪水)500m圏
- 指定避難所(洪水)800m圏
- 道路浸水
- 家屋倒壊_河岸浸食
- 家屋倒壊_氾濫流
- 浸水時間
- 24時間～72時間(3日間)
- 72時間～168時間(1週間以上)